

鳥取県との一体的実施(鳥取県ふるさとハローワーク境港・八頭)

○ 少子高齢化が進む鳥取県において、地域の経済活動を支える人材の確保は大きな課題となっている。
 こうした中で、境港及び八頭地域の労働市場を支える人材確保を図るため、国と県が連携し、**就職活動に向かう求職者に職業選択のための情報提供、職業相談、職業紹介、職場定着等の チーム支援に加え、雇用保険業務の一部をワンストップで実施。**

鳥取県 個別カウンセリングコーナー

- ◆就職活動に関する相談
- ◆応募書類の作成支援
- ◆職場定着支援
- ◆職場体験講習・適職診断

同一フロアに設置

協定の締結
 事業計画の作成
 運営協議会の設置

※ 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を協定

ハローワーク

- ◆職業相談・職業紹介
- ◆雇用保険適用・給付業務
- ◆求人者への情報提供

事業内容

【県】

(1) 職業意識啓発

仕事探し、就職準備などの進路指導や仕事に関する疑問や悩み、職場定着の悩みへのアドバイス等を行う個別支援や適職診断の実施。

(2) 職場体験講習(地域活性化雇用創造プロジェクト)

講習先事業所の所定労働時間で25日を上限に職場体験を実施。

【国】

(1) 求職者に対する職業相談・職業紹介

(2) 雇用保険受給者に対する給付業務・相談業務

(3) 求人者への情報提供業務

(4) 事業主等への雇用保険適用業務

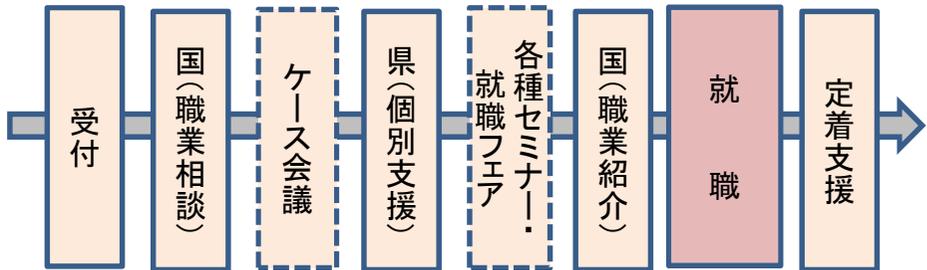
【共同事業】

(1) 就職フェア・職場定着セミナー等のイベント情報提供

利便性向上のための取組み

- (1) 施設案内等の**共同チラシ**の作成・周知
- (2) あらゆるレベルでの**意見交換**
 → 業務運営や進捗管理等に関する意見交換等
- (3) **個人情報**を共有し、ケース会議を行うなど、県と国が一体となったきめ細かなチーム支援を実施。

支援の一般的な流れ



(1) 実施体制(28年度)

【鳥取県ふるさとハローワーク境港】

- ・鳥取県 就業支援員 2名配置
- ・国(ハローワーク) 職員1名 職業相談員2名 求人者支援員1名

【鳥取県ふるさとハローワーク八頭】

- ・鳥取県 就業支援員 2名配置
- ・国(ハローワーク) 職員1名 職業相談員2名

・開所時間:午前8時30分～午後5時15分 ・求人情報提供端末 境港:8台 八頭:5台

(2) 事業目標と取組状況(28年度)

		事業目標		取組状況(平成29年1月末時点)		
鳥取県ふるさと ハローワーク境港	施設利用者数	年間目標	27,281人	実績	26,965人	目標達成率 98.8%
	県とのチーム支援対象者	年間目標	360人	実績	359人	目標達成率 99.7%
	相談件数	年間目標	5,592人	実績	5,006人	目標達成率 89.5%
	就職者数	年間目標	808人	実績	868人	目標達成率 107.4%
鳥取県ふるさと ハローワーク八頭	施設利用者数	年間目標	7,100人	実績	7,292人	目標達成率 102.7%
	県とのチーム支援対象者	年間目標	170人	実績	142人	目標達成率 83.5%
	相談件数	年間目標	1,930人	実績	2,081人	目標達成率 107.8%
	就職者数	年間目標	270人	実績	297人	目標達成率 110.0%

一体的実施事業による就職成功例

女性：40歳代 希望職種：一般事務
直近の状況：看護補助者（物品管理等）にて就業していたが家庭の事情（家族の看護）により退職

① 抱える課題

- 完全週休二日制（土・日・祝）へのこだわりが強い。
- 販売職の経験が長く一般事務職としての経験が短い。
- パソコン（ワード、エクセル）の知識、スキルが低い。

② チーム支援内容・経過

- 数社応募するも不採用が続いたことから、事務職への応募意欲が低下しないよう意欲の継続を支援。
- パソコンのスキルアップが必要であることは本人も認識しているものの職業訓練を受講する余裕がなく、独学によるスキルアップを県就業支援員がサポート。
- 県就業支援員による応募書類の作成支援及び面接の受け方指導を実施。
- 境港地域の求人を複数提示し、週休二日制導入等の状況を説明、理解を促す。
- 「きたろう就職面接会」への参加をアドバイス。

③ 結果

※支援期間 6カ月

水産物卸売会社に事務員として正社員採用

- 就職後も業務への不安を抱えながら就業しており、職場定着支援を継続実施している。

女性：60歳代 希望職種：事務・保育士
直近の状況：製造関係検査員として25年勤務し定年退職

① 抱える課題

- 長年にわたり同一業務に従事していたことにより他職種への対応に不安を抱えている。
- 資格を有する保育士か、以前に経験したことのある事務を希望するが、経験や知識、技能の不足がある。
- パソコンが使えない。

② 支援内容・ポイント・経過

- 雇用保険受給中ではあるが早期再就職の希望が強いことから、いかなる職種でもパソコンスキルが必要である旨を説明し、県就業支援員から短期のパソコン講習を紹介、20時間のパソコン講習を受講。
- パソコン講習受講後、職業相談を重ねる中で、保育士資格とパソコン講習でのスキルを活かせる求人情報提供。
- 応募に向け、県就業支援員による履歴書及び職務経歴書の作成支援を実施。

③ 結果

※支援期間 1か月

非常勤保育士講師として採用

- 非常勤ではあるが1年以上の雇用見込であり、重視していた早期の再就職に結びつき、雇用保険窓口も活用し再就職手当も受給。